

(2013 年度クイーンズランド州<ICTE-UQ>奨学生レポート 1月)

「インターンシップからの収穫」

こんにちは。日本は寒さが厳しいと聞き少し、帰国後が心配です。さて、今回は私のインターンシップについてお伝えします。

私の参加している GO GLOBAL プログラムでは最初の4ヶ月を語学学校で過ごし、残り2ヶ月は現地企業でインターンシップを行います。前回のレポートで環境系の企業でインターンシップをする予定だったのですが、諸事情により企業が変更になりました。私は現在 Komatsu Australia という企業でインターンシップを行っています。社会人の方はご存知と思いますが、日本の建機会社であるコマツの現地企業です。コマツは建機会社としては国内では首位、世界ではキャタピラーに次ぐ2位の大企業です。チリ人の友人がチリで一番有名な日本の会社はコマツと言っていました。(↓会社の入口)

インターンシップでは購買部門に籍を置き、日々勉強させていただいています。また日本から輸入されたパーツを組み立てる工場があるので、毎日大きな建設機械が組み立てられているところを間近に見ています。オフィススタッフも工場のスタッフも和気あいあいとしており、すれ違うときはいつも「G' day, mate!」(オーストラリア式のこんにちは)と話しかけてくれます。

私はこれまでに二つ大きなことを学びました。一つは企業における多様性です。社内ではオーストラリア人はもちろん、ドイツやスイス、韓国、中国など様々なバックグラウンドの人が働いています。私は英語を使い仕事をしたいと考えているので、将来はこのような職場で働く可能性があるかと実感し、そのための予行演習となっています。もう一つは製品を知るということです。仕事の一つとして部品を発注した注文書の処理をやっていきます。それを行うことにより、一見商品を見ただけではわからない部品や製品を作り上げるまでに何が必要なのか理解することができました。元々ものづくりに興味を持っていたので、これは大きな収穫となりました。



私の念願の夢であった留学も残り1ヶ月となりました。一日一日を大切にし、最大限の力で自己研磨を行います。



(組立後の建設機械)